

「夏休み工作イベント」を実施しました。

日時：2009 年 7 月 31 日（缶バッチ）、

8 月 7 日（プラ板キーホルダー）、

8 月 21 日（ペットボトル水族館）

各金曜日の 13：30～14：30

場所：鶴見川流域センター 1 階コミュニティールーム・2 階展示ルーム

全参加者数：65 名

今年は、3 種類の工作を 1 回ずつ実施しました。全ての工作開始の前に、鶴見川流域水族館で生きものの説明を聞きながら、じっくりと観察をしていました。

その後、好きな生きものの絵を描き、世界にひとつだけの作品が完成しました。

このイベントを通して鶴見川や生きもの、また鶴見川流域の自然や治水などについて、興味を持っていただけました。

缶バッチは、土台となる丸い紙に生きものの絵を描きます。缶バッチを作る機械で描いた絵と透明のフィルム、更に缶バッチの土台とをガッチャンと合体させたら完成です。

プラ板キーホルダーは、水族館で描いた生きものの絵をプラ板に写して、トースターで焼きます。穴を空けてヒモを通せばキーホルダーやストラップが出来上がり！

ペットボトル水族館では、最初に浮力のしくみからライフジャケットの必要性についての解説もあり、勉強にもなりました。浮力を使ったペットボトル水族館は微調整が難しく苦戦もありましたが、子どもも大人も大満足の完成度となりました。

〈参加された方からの声〉

- ・“ガッチャン”が楽しかった！うまくできてよかった。（缶バッチ）
- ・小さい子どもで絵が描けなくても喜んで参加できて良かったです。（缶バッチ）
- ・紙に書くのと違う仕上がりになって、とてもおもしろかった。（プラ板キーホルダー）
- ・魚の観察をしながら楽しく工作ができて親子で大満足です。（プラ板キーホルダー）
- ・水加減が難しく、つい親の方がムキになってしまいました（ペットボトル水族館）
- ・難しかったけど、楽しかった。（ペットボトル水族館）

★ 缶バッチ



水族館で説明を聞きます。



力を入れてギュッと押す！



オリジナル缶バッチ完成！

★ プラ板



何を描こうか考え中。。。



焼くとどうなる??



素敵なキーホルダー完成！

★ ペットボトル水族館



浮力の説明を聞きます！



水量の微調整が難しい…。



やっと、完成♪

実施主体 主催：連携 T Rnet（綱島バリケン島プロジェクト）、npotR ネット
和光大学地域・流域共生センター
共催：鶴見川流域センター
後援：港北区
港北ふるさとサポート事業の助成を受けています。